

# 尚絅大学国語教育学会の設立の御挨拶

— 黎明の境界を越えて —

おかげさまで今年度で尚絅学園が創立されてから百二十七年を迎えます。また尚絅大学も昭和五十年に文学部が設立されてから今年で丸四十年という節目の年を迎えます。文学部も平成十八年に文化言語学部と改称し衣替えを図る一方、生活科学部も設立して、本学部は学園の発展の一翼を担っています。日本文学関係も文学部国文学科から文化言語学部文化言語学科日本コース、同学科日本文化・日本文学コース、同学科日本文学・言語コース、そして今年度から同学科日本文学・日本語コースへと名称の変更を重ねながら、肅々と国語教育の教員養成を継続してまいりました。おかげさまで毎年途切れることなく、何人もの卒業生が教育界に羽ばたいております。

他の卒業生も県内を中心に各界に進出し、活躍していますが、特に教育界の方面では、異動も多く、学部の間窓会でもその実情がなかなか掴めない状況となっております。そこで、まず、「国語」「書道」の教職に就いている、中学高校（含む小学校、特殊学校、学校図書館司書等）の教員の把握に努め、続いては「英語」等の教員の情報確認に努めていきたいと思っております。

その第一段階として、おかげさまで、昨年十一月二十三日に第一回尚絅大学国語教育学会の総会を慎まじやかではありますが開催することができました。ここから新たな出発点として、尚絅大学卒業生の、教育界への足がかりと会員相互の発展のために尽力して行きたいと思っております。

また、教育現場での質的向上にも役立つように、会員相互の切磋琢磨を働きかけていく所存でございます。

どうぞ関係皆さまの今度の御助力・ご理解をお願い申し上げます。

平成二十七年三月

尚綱大学国語教育学会会長 武田昌憲